

獣医学共用試験調査委員会（第4回） 議事次第

1 日 時 平成22年3月1日（月）13:00～17:50

2 場 所 東京大学農学部 弥生講堂アネックス

3 出席委員

酪農学園大学：山下和人教授

岐阜大学：北川均教授、

北里大学：高井伸二教授

岐阜大学：杉山誠教授

日本獣医生命科学大学：新井敏郎教授

麻布大学：浅井史敏教授

日本大学：鎌田寛教授

東京大学：大野耕一准教授

獣医学共用試験調査委員会の上部組織

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに関する調査研究委員会

総括班責任者 東京大学 尾崎 博教授

全国大学獣医学関係代表者協議会 会長 吉川 泰弘教授

国公立大学獣医学関係代表者協議会 会長 伊藤 茂男教授

4 議 題

（1）獣医学共用試験における目的・目標について

吉川先生から日本獣医師会において実施された「獣医学臨床教育の改善（参加型臨床実習のあり方）」に関する関係者懇談会における議論の概要をご説明頂いた。その際に議論の焦点となったことは懇談会資料4-1の獣医療法第19条に関する獣医学生の獣医療行為に関する農水省の解釈であった。違法行為であろうと思われるが、「大学が策定する指針」によって獣医学生に許容される獣医療行為が可能とされた場合、医療事故の責任の所在など法的な根拠を何処に求めるか、極めて曖昧な点が多く、問題の先送りと考えられた。獣医学教育における共用試験の目的と意義については、違法性の棄却と教育の質保証のふたつが根拠となり、医歯薬の事例を踏まえながら、比較検討を進め、中間答申案を作成することとした。

（2）その他：次回の予定

5. 資料

（1）資料1 獣医学共用試験について 新井先生

（2）資料2 浅井先生のコメント

（3）資料3 山下先生のコメント

（4）資料4 酪農学園大学獣医学部での共用試験に関する意見（山下先生）

- (5) 資料5 獣医臨床系教官の「共用試験」に関する意見など(大野先生)
- (6) 資料6 北里大学臨床系若手教員におけるアンケート調査(高井)
- (7) 資料7 事前の獣医学生評価をどの様に行うか?(尾崎先生)
- (8) 資料8 獣医師会懇談会資料 2010-2-24(メール添付ファイルのみ)
- (9) 資料9 懇談会資料(獣医師会)
- (10) 資料10 獣医学共用試験についての考え方 ver2(杉山先生)
- (11) 資料11 共用試験 Q&A
- (12) 資料12 獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議資料から
- (13) 資料13 第四回資料(鎌田先生) 当日配布
- (14) 資料14 ipad の記事
- (15) 資料15 臨床実習において獣医学生が行う獣医行為(資料4-1と4-2)
- (16) 資料16 尾崎先生資料7の改訂版